

# 「総ぐるみ」新聞

NPO総ぐるみ福祉の会

所在地：「京急ニュータウン」バス終点 徒歩2分

住所 横浜市港南区日限山4-39-19 日限山ハイツ101号室  
電話 045-846-8850 FAX 045-370-7272

## 今年の課題は「ひとり暮らし高齢者」の方々の孤独感を防ぐこと

NPO総ぐるみ福祉の会は、西洗自治会のご協力を得て、昨年から自治会の正式な協力団体として認可されました。既に昨年12月には共催で医療講演会を開くなど、具体的な活動も始まっています。

活動が活発になるにつれて「総ぐるみ福祉の会の介護サービスは、他の介護保険サービス事業者とどう違うのか」というお尋ねもいただくようになってきました。

当会が提供する介護サービスの主なものは「訪問介護サービス」です。訪問介護とは、利用者の皆さんが可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、訪問介護員（ホームヘルパー）が利用者の自宅を訪問し、食事・排泄・入浴などの介護（身体介護）や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援（生活援助）をします。また、当会では

通院などを目的とした乗車・移送・降車の介護サービスも提供しています。

こうした訪問介護サービスの内容は他の事業者とほぼ同じですが、当会は少し違います。一般の介護保険サービス事業者が対象とするお客様は「介護保険の利用者」つまり介護を必要としている方々に限るようですが、当会では2面の記事のように、介護を必要としない元気な方々も対象とした様々なサービスの実現に取り組んでいます。

その理由は何故か？ 一つには地域での人々の様々な交流の機会を創出することが、ひとり暮らしの高齢者の方々の孤独感を防ぐ支えとなること、もう一つは「あの人、最近来なくなったわね。どうしたのかしら？」という疑問に対応することが、結果として見守りサービスにつながるからです。

現在、当地区の高齢者のひとり暮らし問題を解決するために、日限山ケアプラザはじめ自治会、日限山いぶき会などの諸団体が様々な課題に取り組んでいます。新しい年を迎え、

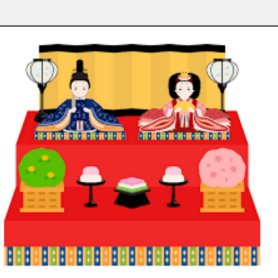
当会でもこうした課題にますます力を入れて取り組んでいきます。

### 今年も「おどろひな祭り」を開催します

来る2月26日（水）午前11時から午後2時まで、今年も西洗・港南プラザ自治会館で日限山いぶき会と共催の「おどろひな祭り」を開催します。

これは会場に飾られたお雛様を囲んで茶席を設け、おしゃべりとお酒、お食事を楽しむという催し。詳細は後日配布する「ご案内状」をご覧ください。

なお、当日、会場に飾る「おひな様」をお貸しいただけませんか？ お貸し



いただける方は、NPO総ぐるみ福祉の会事務所（Tel 846-18850）にご連絡ください。

# 新年初のイベント「初釜」を自治会館で開催

## 日本の伝統文化に触れる企画として定着

1月8日、お茶を楽しむ集い「初釜」が今年度は西洗港南プラザ自治会館1階で開催されました。いつもは机と椅子だけの会場に緋毛氈が敷かれ、正座が苦手の方のために床几をしつらえ、茶室風に掛け軸と花で模様替えし、和服姿の女性スタッフがお茶の支度をするなどすっかり正月気分がみなぎっていました。心配された天候も「初釜」開始の頃にはすつ



恒例の初釜に集う人々の笑顔が嬉し穏やかな春  
綾子

かり晴れ、宮崎理事長の挨拶に続き食事とお酒を楽しんだ後、大橋綾子理事による解説とお点前が始まりました。参加された皆さんは39人。「茶道を初めて

### たまり場「こぶし」に各地ケアプラザからの見学相次ぐ

当会のたまり場「こぶし」の活動が市内各地のケアプラザから注目され、実態を見学に来られるケースも少なくありません。

1月11日には神奈川県にある神奈川県福祉協議会の伊藤圭子さん、新子安地域ケアプラザの下川邊太陽さん、沢渡三ツ沢地域ケアプラザの今村治子さん、社会福祉法人若竹大樹会の吉野舞さんが訪問、「男の料理」を熱心に見学されました。

体験しました」「正座を要求される堅苦しい茶席でないのが良い」「これを機会に本格的にお茶の勉強をしたい」「お茶のような日本の伝統文化に触れる機会を子供たちにも、ぜひ伝えていきたい」などさまざまな意見をいただきました。

当日のメニューは、ミラノ風カツレツ、舞茸ご飯、納豆汁、いとこ煮など。フライパンを使ってカツレツを作り、山形出身の太田さんの指導による郷土料理の「納豆汁」を作る様子を見学しているうちに、見学者唯一の男性の下川邊さんも一緒に納豆をすり鉢でするといふハプニングも…。

コーディネーターの布施理事を中心に、料理を作る人、デザートやコーヒーを準備する人、配膳する人、足の不自由な方をクルマで送迎する人などに分かれ、食事の準備が完了。

当日の参加者は25人。食事に先立ちシエフの福田さんからメニューの説明があるなど、見学者の皆さんは「各地で料理教室を見してきましたが自ら進んで大勢の男性が生き生きと料理し、食事を楽しむシーンは初めて。想像していたよりすごい」と活動ぶりにびっくりされていました。

